

DERWENT-ACC-NO: 2006-791525

DERWENT-WEEK: 200681

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Desk musical chair used by small children in  
kiosk of  
exclusive use toy store, has cards and accessories for  
classified by color to improve game playing on  
desk

INVENTOR: DATE, K

PATENT-ASSIGNEE: DATE K[DATEI]

PRIORITY-DATA: 2005JP-0117473 (March 18, 2005)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2006255368 A	September 28, 2006	N/A
003 A63F 001/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2006255368A	N/A	2005JP-0117473
March 18, 2005		

INT-CL (IPC): A63F001/00, A63F001/04

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2006255368A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Cards and accessories for exclusive use are classified by color to improve game playing on a desk.

USE - Used by small children in kiosk of toy store, station, convenience store, wood store, souvenir shop, variety shop.

ADVANTAGE - Does not require use of chair, large space and music while ensuring safe playing on desk. Has figure formed on each card.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the front view of cards.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/2

TITLE-TERMS: DESK MUSIC CHAIR CHILD KIOSK TOY STORAGE CARD ACCESSORY  
EXCLUDE

CLASSIFY COLOUR IMPROVE GAME PLAY DESK

DERWENT-CLASS: P36

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2006-612828

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-255368

(P2006-255368A)

(43) 公開日 平成18年9月28日(2006.9.28)

(51) Int. Cl.

A63F 1/04 (2006.01)

F I

A63F 1/04

Z

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2005-117473 (P2005-117473)  
(22) 出願日 平成17年3月18日 (2005.3.18)(71) 出願人 505130639  
伊達 賢三  
京都府京都市東山区今熊野南日吉町48-3  
(72) 発明者 伊達 賢三  
京都市東山区今熊野南日吉町48-3

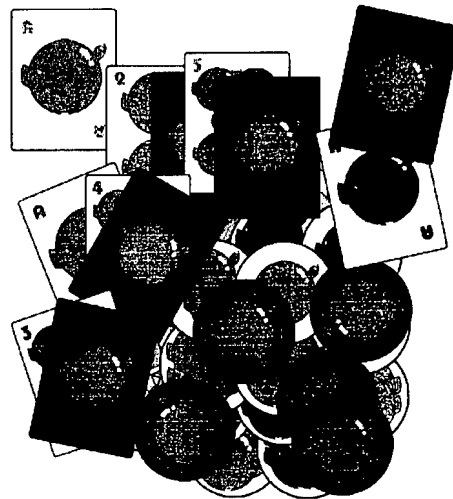
(54) 【発明の名称】 卓上椅子取りゲームピックアップ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 椅子取りゲームを専用のカードと小物を使って卓上で同様の遊びが出来るように改良したゲーム。

【解決手段】 一般的に椅子取りゲームと呼ばれる遊びを色分けした専用のカードと小物を使って遊べるようにしたゲーム。

【選択図】 図1



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

一般的に椅子取りゲームと呼ばれる遊びを色分けした専用のカードと小物を使って卓上で遊べるように改良したゲームである。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

この発明は、椅子取りゲームをカードと小物を使って卓上で出来るように改良したゲームに関する。

## 【背景技術】

10

## 【0002】

椅子取りゲームは、椅子を数脚とプレーヤーが、その廻りグルグルと回れる広さ、自由にオン、オフにできる音楽が必要で、椅子の捕り合いをするために子供達には危険が伴う。しかし、スペースを取らず、安全に子供が参加できる卓上版椅子取りゲームが市場に存在しない。

## 【発明の開示】

## 【発明が解決しようとする課題】

## 【0003】

そこで、この発明は、椅子取りゲームをスペース、椅子、音楽を必要とせず、卓上で安全に遊べるようにカード化したゲームを提供することを課題とする。

20

## 【課題を解決するための手段】

## 【0004】

以上の課題を解決するために、この発明は、椅子の代わりにソフトビニールなど柔らかい素材の動物やキャラクター人形などを使用し、音楽の代わりに専用のカードを使うことを特徴とするカードゲームです。

## 【発明の効果】

## 【0005】

この発明により、椅子取りゲームと同様の内容を、椅子、スペース、音楽を必要とせず、卓上で安全に遊べるようになります。

## 【発明を実施するための最良の形態】

30

## 【0006】

この発明の一実施形態を、図1に示します。図1はカードの一イメージで、特にデザインなどに規定はありません。形は図1のように四角いトランプ型でも丸メンコ型でも統一されていれば構いません。表は片面同色5枚のカードを一組として人数分。すなわち6人用なら6色に色分けされた30枚、8人用なら8色で40枚のカードです。トランプのように配られたカードが他の人には判らないように裏は全て同色で同じデザインでなければなりません。

他に用意するものは、ソフトビニールなどの柔らかい素材でできた動物やキャラクターの人形とスコア表です。

この人形が椅子取りゲームの椅子の代わりになるのでプレーする人数分より1個少なく用意します。図2のスコア表にゲーム毎に負けた人を記入します。

40

ゲームの遊び方は、プレーヤーはテーブルに着き、人数よりひとつ少ない数の人形をテーブルの中央の置きます。人数分×同色5枚のカードをシャッフルして各プレーヤーに5枚ずつ伏せて配り、他の人に見せないようにします。5枚全て同じ色にするのが目的なので、掛け声に合わせて各自の要らないカードを同時に右手の人に渡します。そして左手の人から来たカードを自分の手に加えます。何度かカードを回しているうちに5枚のカードが全て同色に揃えば、テーブル上の人形を取ります。ここで大切なのは、自分のカードが同色に揃えば当然、人形を取る権利がありますが、自分のカードが揃わなくても、誰かが揃って人形を取れば、その時点で全員に人形を取る権利が生じる事です。本来の椅子取りゲームでは、音楽が止まれば椅子に座れますが、ここでは、自分もしくは自分以外の誰かの

50

【 0 0 0 7 】

反射神経を養い、娯楽として家庭、学校、職場、旅行中など、場所を選ばず多人数で遊べます。

「他の実施形態」

10

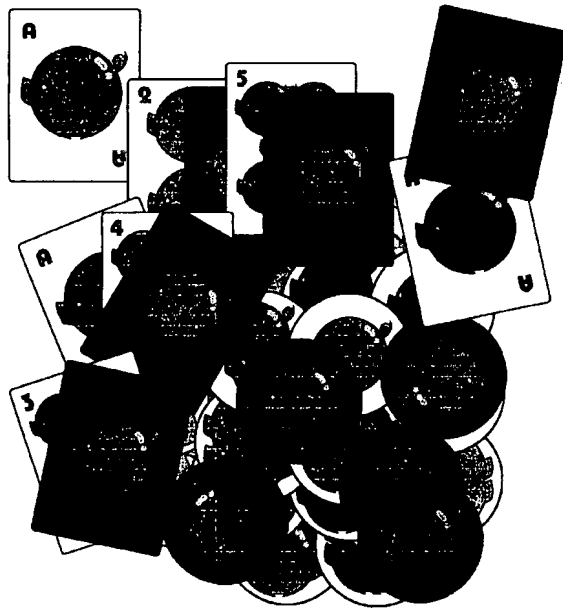
### 【産業上の利用可能性】

20

【 0 0 1 0 】

【図 2】この発明の一実施形態を示す図である。

【图 2】

[illegible]